

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第十七號

明治四十年三月二十五日(月曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十七號 明治四十年三月二十五日

午前十時開議

- 第一 刑法改正案兩院協議會成案 會議(兩院協議委員議長報告) 第一讀會
- 第二 租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四 統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第六 統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第八 韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案 (政府提出案) (議院送付) 第一讀會(續(委員長報告))

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

貴族院議事速記録第十七號

明治四十年三月二十五日

議長ノ報告

〔東久世書記官朗讀〕
一昨二十三日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

森林法改正法律案

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案

同日本院ニ於テ議決シタル衛生參考館擴張ノ建議書ハ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル左ノ各請願書ハ意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

北海道鐵道買收補償ニ關スル請願

妊婦ノ犯罪ニ關スル請願

利根川及江戸川浚渫工事進捗ノ請願

渡良瀨川河身改修ノ請願

函館港灣修築ニ關スル請願

高等工業學校設立ニ關スル請願

日露戰役ニ關スル個人損害救済ノ請願

學生團體乘車割引規程改正ノ請願

人權保護ノ請願

立木ニ關スル登記法制定ノ請願

家祿不足額給與ノ請願

利根、渡良瀨兩川改修工事速成ノ請願

賣藥稅法改正ノ請願

同日政府ハ左ノ政府提出案ヲ撤回シタル旨衆議院ニ通知セリ

市制改正法律案

町村制改正法律案

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案特別委員會

委員長 男爵小澤 武雄君 副委員長 子爵樋口 誠康君

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵岡部 長職君 副委員長 穗積 八束君

日本水產銀行法案特別委員會

委員長 子爵鍋島 直彬君 副委員長 村田 保君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 男爵伊達 宗敦君 副委員長 西村 亮吉君

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵舟橋 遂賢君 副委員長 三浦 安君

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵大久保 忠順君 副委員長 子爵鍋島 直虎君

同日議員伊澤修二君ヨリ提出シタル國語及字音假名遣ニ關スル質問ニ對シ政府ヨリ左ノ答辯書ヲ受領セリ

貴族院議員伊澤修二君提出國語及字音假名遣ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十年三月二十三日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

貴族院議長公爵德川家達殿

〔別紙〕

貴族院議員伊澤修二君提出國語及字音假名遣ニ關スル質問ニ對スル

答辯書

一文部省ハ明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第二號表ヲ以テ字音假名遣ヲ簡略ニセリ是レ小學校殊ニ其初級ニ於テハ假名又ハ假名及僅少ノ漢字ヲ以テ單語又ハ簡易ナル文章ヲ綴リ教授セサルヘカヲサルニ字音假名遣ヲ嚴正ニ教授スルハ教育上最大難事トスル所ニシテ兒童ノ腦力ヲ疲勞セシメ之カ爲ニ他ノ緊切ナル事項ヲ授クルニ必要ナル時間ヲ減少スルノ憂アリ例ヘハかう(校)かふ(甲)こう(公)こふ(劫)くわう(光)ノ別、しやう(將)しょう(松)せう(小)せふ(捷)ノ別ノ如キ之ヲ兒童ニ教フルコトヲ止メ單ニ之ヲこー又ハしよートシテ授クルコトトシ又ハ(胃)(醫)ノ別ノ如キ、ゑんそく(遠足)えんき(延期)等ノ場合ニ於ケルゑ、えノ別ノ如キ之カ區別ヲナサシテい又ハえニ一定シ、おんあい(恩愛)をんせん(溫泉)等ノ場合ニ於ケルお、をノ別ノ如キモ之ヲ止メテもニ一定セリ而シテくわん(觀)かん(感)等ノ場合ニ於ケルくわ、かノ別、ぢ(持)じ(寺)ノ別、づさん(杜撰)ずんぶん(隨分)等ノ場合ニ於ケルづ、ずノ別ノ如

キハ之ヲか又ハじ、ずニ一定スルヲ本體トセリト雖モ尙從來慣用ノ例ニ依ルモ妨ナキコトトセリ字音假名遣ニ關シテハ此ノ如ク一定シタリト雖モ國語假名遣ニ關シテハ其影響スル所重大ナルヲ以テ仍從來ノ儘ニシテ他日ノ調査ニ待ツ所アリキ

抑モ字音假名遣ノ如キハ普通ノ文章ニ於テハ多ク漢字ニ隱ルルモノナレハ法律命令等ノ如ク多數ノ漢字ヲ使用スルモノハ字音假名遣ノ新定ニ依リ影響ヲ受クルコト甚タ稀ナリ而シテ辭書ノ如ク必ス假名ヲ使用セサルヘカラサルモノハ近時此新定ノ假名遣ニ據レルモノモ少カラスシテ其利便ハ漸次社會ニ認容セラレツツアルカ如シ要スルニ明治三十三年文部省ノ定メタル字音假名遣ハ現代多數ノ國民ノ發音ニ準據スルヲ目的トシタルモノニシテ現代ノ發音ヨリ消滅セルゑをハ字音ニ關シテハ自然不用ニ歸シタルナリ敢テ漫ニ刪去シタルニアラス國語又ハ字音ノ輕々ニ改廢シ得ルモノニアラサルコトハ固ヨリ本大臣ノ認ムル所ナリ

一字音假名遣ヲ簡略ニシタル以來國語假名遣ノミ舊來ノ假名遣ニ依リ字音ト國語トノ假名遣ヲ二様ニ授クルハ教育上不便ナルヲ以テ國語假名遣ニ關シテモ簡易ナル原則ニ依リ適當ノ改正ヲ加ヘラレタシトハ教育社會一般ノ希望ナリト認メタリ且國定教科書ノ修正ニ著手セルニ際シ文部省ニ設置セル教科書調査委員會ニ於テ國語假名遣ト字音假名遣トヲ統一スヘキ改正ノ必要ヲ認メ案ヲ具シテ報告シタルヲ以テ明治三十八年二月之ヲ國語調査委員會ニ諮問シ茲ニ明治三十八年三月開會ノ第九回高等教育會議ニ諮問シタリ然ルニ高等教育會議ニ於テハ本件ハ重要ノ問題ナルヲ以テ十分講究ノ必要アリ依テ他日ヲ俟チテ更ニ諮問アラント望ム旨ヲ議決セリ而シテ國語調査委員會ニ於テハ假名遣ノ歴史、全國各地方ノ音韻等種々ノ點ヨリ慎重ノ調査ヲ遂ケ明治三十八年十一月ニ至リ詳細ニ答申スル所アリキ依テ該答申ノ儘ヲ昨明治三十九年十二月開會ノ第十回高等教育會議ニ諮問シタルニ之ヲ可決セリ該答申ニ依レハ「一」ノ符號ハ之ヲ廢シタルニアラス國語及字音ノ長音ニハ「い」「う」「え」「お」等ノ如ク「あ」「い」「う」「え」「お」ヲ用フルヲ正則トシ「あ」「い」「う」「え」「お」ヲ代用スルコトヲ許容シタリ尙ホか「く」「わ」ハ其別ヲ止メテかニ一定シ又國語假名遣ニ於テハひふへほト書キテわいうゑおト發音スルモノ例ヘハ

かは(川)うぐひす(鶯)あやふい(危)い(家)かほ(顔)等ノはひふへほノ如キモ之ヲ發音ノ儘ニ表記スルヲ目的トセリ而シテ國語假名遣ノ改正ハ談話體ノ文章ニノミ行フモノニシテ和歌又ハ普通文ニアリテハ一切之ヲ適用セサルナリ又長音ノ表記法ニ至リテハ國語及字音ニ關シ「」ヲ用非ルヲ正則トセサルコトナルト雖モ之ヲ代用スルヲ許容スルモノナレハ假令國語調査委員會答申ノ旨趣ヲ實行スルトモ「」ヲ教ヘタルコトヲ目シテ誤謬ヲ傳ヘタルモノト看做スヲ得サルヘシ

一前項高等教育會議ノ諮問ヲ經タル假名遣ハ教科書調査委員會ノ報告及國語調査委員會ノ答申ニ基キタルモノナリ本大臣ハ是等會議ノ意見ヲ審案シ其適當ト認ムルモノハ之ヲ採用シ之カ實行ノ責ニ任スヘシ

右及答辯候也

明治四十年三月二十三日

文部大臣 牧野 伸顯

同日議員伯爵柳澤保惠君外五名ヨリ百十八名ノ賛成ヲ以テ商業教育ニ關スル建議案ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

昨二十四日議員伯爵德川達孝君外六名ヨリ四十二名ノ賛成ヲ以テ國語及字音假名遣ニ關スル建議案ヲ提出セリ

議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、刑法改正案兩院協議會成案、會議、兩院協議委員會議長報告、黑田侯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

刑法改正案
右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

明治四十年三月二十三日

刑法改正案兩院協議委員會議長

侯爵黑田 長成

貴族院議長公爵德川家達殿

〔別冊〕

刑法改正案兩院協議會成案

第四十三條及第七十七條ハ貴族院議決案ノ通其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

〔侯爵黑田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黑田長成君 刑法改正案兩院協議會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、此成案ガ誠ニ圓滑ニ且ツ非常ニ速ニ成立ニ至リマシタ顛末ヲ茲ニ御報道イタシマスノハ本員ハ本懷ノ至リニ堪ヘマセヌノデゴザイマス、去ヌル二十日、本院ニ於キマシテ十名ノ協議委員ガ選定ニナリマシタ、即日引續イテ協議會ノ議長及副議長ノ選舉ヲ致シマシテ、一昨二十三日午前カラ午後ニ引續キマシテ協議會ガ開カレマシタ、抽籤ニ依リマシテ衆議院ノ方ノ議長タル磯部四郎君ガ議長席ニ著カレマシテゴザイマス、先ヅ衆議院ノ側カラ貴族院ノ不同意ノ理由ヲ問ハレマシテ、ソレニ對シテ當院ノ方カラモ其理由ヲ説明ニナリマシタ所ガ、更ニ衆議院ノ委員カラ衆議院ニ於ケル修正ノ趣意ヲ縷々説明セラレマシテゴザイマス、ソレカラ協議會ノ議事ノ進行ノタメ、便宜上雙方ヨリ更ニ各二名ヅツノ交渉委員ヲ各議長ノ指名ニ依ッテ選バレマシタ、即チ貴族院ニ於キマシテハ村田保君、富井政章君、一木喜徳郎君、衆議院ニ於テハ元田肇君、奥田義人君、花井卓藏君デアリマス、休憩後ニ衆議院ノ交渉委員ノ方ヨリ、其次ニ貴族院ノ交渉委員ノ方ヨリ各一名ヅツ陳述ガゴザイマシテ、一ノ討論モ用非ズシテ、殘ラズ出席ノ上デ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決イタシマシタ、此中デ第四十三條ノ未遂罪ノ件ト第七十七條ノ内亂ニ關スル罪ノ此二箇條ハ實ハ雙方トモ最モ重キヲ置イタ點デアリマシタ、此四十三條ハ曾テ貴族院ニ於テ修正ニナリマシタ箇條デ、此度衆議院ニ於テ貴族院ノ修正ニ對シテ修正セラレタ所ノ唯一ノ箇條デアリマス、モト貴族院ニ於テ刑法改正案ノ大體ヲ可トシテ成ルベク少ク原案ニ修正ヲ加ヘテ衆議院ニ送ッタノデ

アリマシタガ、此四十三條ダケハ今度衆議院ニ於テ修正ニナッタノデアリマス、ソレダケ貴族院ニ於テハ此條ニハ何レモ重キヲ置イタノデゴザイマス、ソレカラ第七十七條ハ是ハ隨分重大ノ事件ヲモ含蓄イタシテ居ルノデ貴族院ニ於テハ最モ重キヲ置ク點デアリマシテ、尙ホ其他ノ箇條ノ衆議院ニ於ケル修正ニ付キマシテモ、既ニソレノ議院ノ速記録ニ依ッテ詳デアリマスカラ茲ニ縷々申述ベルコトハ便宜上省キタイト思ヒマス、ソレデ雙方トモ最モ重キヲ置キマシタ所ノ此二點ヲ衆議院ノ側カラ讓歩ニナリマシタノデ、貴族院ノ側ニ於テハ其他ノ箇條ヲ修正ハ全然衆議院ニ同意ヲ表スルト云フコトニ決マリマシテゴザイマス、雙方トモ各院議ヲ重ジマシテ、其主張ニ力ムルコトハ至當ノコトデハゴザイマセウガ、斯クナリマスレバ折角協議會ヲ纏メタ詮ノ無イコトデアラウト思ヒマス、若シ不幸ニモ雙方カラ固執イタシテ徒ラニ紛爭ヲ極メマシテ或ハ刑法ノ理論上ヨリ或ハ實際ノ運用ノ上ヨリ、或ハ刑法ノ歴史沿革等ヨリ、其他種々ノ論點ヨリシテ可否得失ヲ甲ガ論ジ乙ガ駁スルト云フ如クナリマシタナラバ、容易ニ纏マリハ付クマイト思ヒマス、殊ニ此會期切迫ノ折柄、多クノ日數ヲ費ヤシタ上ニ、事ニ依ルト行掛リ上、又ハ感情ノ點カラ、兩々相對シテ寸歩モ讓ラナイト云フヤウナコトニナッテ、全體カラ見マスレバ實ニ些カナ修正ノコトデアリマスガ、是等ニ關スル主義又ハ意見ノ衝突ノ爲ニ、若シモ改正案ノ全部ノ不成立ヲ見ルヤウニナリマシタナラバ、彼ノ角ヲ撓メテ牛ヲ殺スガ如キモノデアッテ、實ニ國家ノ不利、此上モ無イコトカト思ヒマス、然ルニ幸ニシテ一局部ノ論爭ニノミ熱中イタサズ國家ノ大勢ニ鑑ミマシテ、全部ノ不成立ト云フコトハ實ニ國家ノ爲ニ不利デアリ、且ツ此際、功ヲ一實ニ缺クト云フコトハ頗ル遺憾デアルト云フ所カラシテ、互ニ確執イタサズ望蜀ノ念慮ヲ絶チマシテ努メテ意思ノ疏通ヲ圖リマシタ爲ニ、斯ノ如ク平穩ニ且ツ容易ニ交讓ノ途ガ開ケタノデアリマス、想ヒマスレバ刑法改正案ハ本會期中ニ於テ最モ重要ナル法律案ノ一デアルト云フコトハ誰モ認メテ居ル所デアリマスガ、從來幾たびカ議院ニ出テ幾たびカ議決ニ至ラナカッタノデアリマス、近ク申シマスレバ第十五回議會ニ貴族院ニ提出ニナリマシテ特別委員ノ審査ノ終ラナイ中ニ閉會ニナリマシタ、第十六回議會ニモ貴族院ニ提出ニナリマシテ、特別委員ノ修正案ヲ議決イタシテ衆議院ヘ送付イタシマシタケレドモ、衆議院ニ於テ本案ノ議了ヲ見ルニ至ラズシテ閉會ニナリマシタ、ソレカラ第十七回議會ニモ貴族院ニ提出ニナリマシテ

特別委員ニ付託サレマシタケレドモ、委員會ヲ開クニ至ラズシテ衆議院ノ解散ノ結果デ本院ノ停會ニ依リマシテ、未決ニ終ッタノデアリマス、然ルニ此度協議會ニ於キマシテ斯ノ如キ大ナル法案ノ成案ガ咄嗟ノ間ニ、而モ最モ圓滿ニ全會一致ヲ以テ可決セラレタト云フコトハ、恐ラクハ議院開ケテ以來、未ダ曾テ無イ事カト思ヒマス、是ハ實ニ國ノ爲ニ賀スベキコトト存ズルノデアリマス、若シ此際ニ飽クマデモ各員ガ其院議ヲ主張イタシテ、サウシテソレト同時ニ改正案ノ通過ヲ計ラウト云フコトニナリマスレバ、謂ハユル二兎ヲ逐フ者ハ一兎ヲモ獲ズト云フヤウナ譯デ、ドレモ是モ潰レルコトニナルコトハ明瞭デアラウト思ヒマス、今報告ノ終ニ臨ミマシテ唯ダ一言申添ヘテ置キマス、外デハアリマセヌガ、議院ノ法規ニ據リマスレバ、此成案ニ對シテハ更ニ修正ノ動議ヲ爲スコトヲ許サレテアリマセヌ、唯ダ可決スルカ否決スルカノ二途ガ殘ッテ居ルダケデアリマス、ソレ故ニ多年議院ノ宿題トモナッテ居リマシタ刑法ノ改正案ヲ成立タシムル爲ニ、諸君ハドウゾ雅量坦懷ヲ以テ此成案ニ全然御同意アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、兩院協議會成案ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、本日ハ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

「左ノ通牒文及議案ハ、朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ」

租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

第一條 法令ノ規定ニ依リ國稅ヲ徵收セラルヘキ者又ハ其ノ者ノ財産ニシテ其ノ法令施行地外ニ在ルトキハ當該官吏ハ本人又ハ財産所在地ノ當該官吏又ハ吏員ニ其ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル國稅ノ徵收ハ囑託ヲ受ケタル地ノ當該法令ニ依ル第二條 前條ノ規定ハ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノノ租稅其ノ他ノ收入ヲ徵收セラルヘキ者又ハ其ノ者ノ財産カ其ノ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノノ區域外ニ在ル場合ニ之ヲ準用ス

○男爵伊達宗敦君 此際、災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案外一件ノ特別委員會ヲ開キタイト存シマスガ、御差支ガゴザイマセヌナラバ、御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 伊達男爵ノ御要求ノ通りデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、御退席デ宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 委員ノ諸君ハ御退席ヲ願ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律案ハ臺灣韓國關東州ト内地トノ間ニ於キマシテ租稅ヲ徵收イタシマス場合ニ互ニ救助ヲ致シマスル規定ヲ設ケマシタノデゴザイマシテ、極メテ簡單ナ事柄デゴザイマス、御協賛ヲ願ヒ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是ハ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案
明治三十三年法律第七十五號第一條ノ規定ハ別ニ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外統監府及關東都督府並其ノ所屬官署ニ在勤スル判任以上ノ官吏ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ統監府及其ノ所屬官署ニ在勤スル者ニ關シテハ明治三十九年二月以降、關東都督府及其ノ所屬官署ニ在勤スル者ニ關シテハ明治三十九年九月以降ノ在職月數ニモ之ヲ適用ス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 本案ハ極メテ簡單ナルモノデアリマシテ、韓國並ニ關東州ハ内地ト大ニ事情ヲ異ニシテ居ル所ガアルノデアリマスルカラ、臺灣ノ例ニ倣ヒマシテ恩給ノ上ニ於テ、韓國並ニ關東州在勤ノ文官ニ特典ヲ與ヘムトスルノ趣意デゴザイマス、委シク説明ヲ申上ゲル必要モ無カラウト考ヘマスルガ、此附則ノ第二項ニ付キマシテ一言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、附則ノ第二項ニ統監府ニ於キマシテハ明治三十九年二月以降、關東州ニ於キマシテハ明治三十九年九月以降ノ在職月數ニ適用スルト云フコトヲ定メマシタノハ、是ハ韓國ニアリマシテハ、即チ統監府ノ設置ノ時、關東州ニアリマシテハ、關東都督府設置ノ時ヲ標準ト致シタ譯デアリマシテ、既ニ此官廳ニ在勤シテ居ル者ニ特典ヲ與ヘル以上ハ、此開廳ノ時ヲ標準トシテ、即チ既往ニ遡ッテ、此特典ヲ及ボシタ方ガ穩當デアルト斯ウ認メタ譯デアリマス、臺灣ト少シモ異ナラヌ例デアリマシテ、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

明治三十五年法律第二十九號第一條ノ規定ハ別ニ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外統監府及關東都督府並其ノ所屬官署ニ在勤スル巡查、看守及女監取締ニ之ヲ準用ス樺太ニ在勤スル者ニ付亦同シ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ規定ハ統監府及其ノ所屬官署ニ在勤スル者ニ關シテハ明治三十九年二月以降、關東都督府及其ノ所屬官署ニ在勤スル者ニ關シテハ明治三十九年九月以降ノ在職月數ニモ之ヲ適用ス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 本案モ大體ノ趣意ニ於キマシテハ前案ト異ナル所ハ無イノデアリマシテ、主トシテ恩給ノ制度ノ上ニ於テ特典ヲ與ヘムトスルノ趣意ニ外ナラヌノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○伯爵德川達孝君 此第六ノ法律案ハ、第四法律案ノ委員ト同一委員ニ付託セラレムコトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 唯今、德川伯爵ノ動議ニハ御贊成ノ御聲ヲ議長ハ承リマシタカラ採決ヲ致シマス、德川伯爵ノ動議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第八、韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治四十年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ニシテ三箇年以上引續キ在職シタル者ニハ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ノ在職年數計算ニ於テ其ノ在職一箇月ニ對シ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ加算ハ任地ニ到著シタル日ニ始ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前任地ニ到著シタル者ニ付テハ本法施行ノ日ヲ以テ到著ノ日ト看做ス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 本案モ主トシテ韓國ニ於ケル學校職員ニ對シマシテ恩給ノ特典ヲ與ヘムトスルノ趣意デアリマス、大體ノ趣意ニ於キマシテハ、前二案ト異ナル所ハ無イノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託ス

ベキ特別委員ノ選舉

○伯爵德川達孝君 本案モ第四ノ法律案ノ特別委員ト同一委員ニ付託セラレムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ動議ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツ

國稅ノ課稅標準額ニ付テモ亦同シ

第二條 法令ノ規定又ハ行政上ノ處分ニ依リ分納ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ分

納額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ最初ノ納期ノ分納額ニ

合算ス

第三條 地租ノ稅額ニ付テハ前二條ノ規定ヲ適用セス其ノ稅額及毎納期ノ

分納額ヲ厘位ニ止メ一厘未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第四條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ其ノ全額一錢未滿ノモノ及收入印

紙又ハ郵便切手ヲ以テ納メシムルモノニ付テハ第一條ノ規定ヲ適用セス

一筆ノ土地ノ地價ニシテ其ノ全額一錢未滿ノモノニ付テモ亦同シ

前項ノ外國庫ノ收入及仕拂上本法ノ規定ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第五條 本法ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用ス

第六條 明治三十五年法律第二十二號ハ明治四十年度分ヨリ之ヲ適用セス但シ土地臺帳ニ登錄シタル地價ニシテ同法第七條ノ規定ニ依ル更正ヲ了セサルモノニ付テハ仍同法ノ規定ヲ適用ス

第七條 本法ノ規定ハ府縣市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ租稅及公課ニ之ヲ準用ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 是ハ七箇條バカリノ法律ニナツテ居リマスガ、事柄ハ極簡單ナコトデゴザイマシテ、錢位未滿ノ計算ヲ省キタイト、斯ウ云フ趣意ニ止マリマスノデゴザイマス、既ニ銀行等ニ於キマシテ實行イタシテ居リマスルガ、未ダ國庫ニ於キマシテハ法律ノ規定ガゴザリマセスカラ、是ハ實行イタシテ居リマセス、而シテ之ヲ實行イタシマシタ結果、國庫ノ收入支出ノ上ニハ大ナル影響ハゴザイマセス、凡ソ同ジ位ノモノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二、公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十三日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ特別ノ必要アル場合ニ限り内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ非常特別稅法第二十二條第一項及第二項ノ制限ヲ

超過シテ課税スルコトヲ得

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此法律ハ唯今非常特別税法ノ上ニ於キマシテハ附加税ニ絶對ノ制限ヲ設ケテゴザイマスノデ、ソレハ戰時中非常特別税ヲ課シマシタガ爲ニ成ルベク地方ノ事業ヲ收縮イタシマシテ國民ノ負擔ガ一時ニ増加イタシマセヌヤウニ注意ヲ取リマシタノデゴザイマスガ、戰時税ハ繼續スルト云フコトニナリマシタニ付キマシテハ此制限ヲ絶對ニ存シテ置キマス、極メテ地方ニ於キマシテハ不經濟ノ場合ガ往々ニシテ起リマスデゴザイマス、多少其所ニ緩ミヲ付ケタイト云フ趣意デアリマス、尤モ此制限ヲ緩メマシタカラト云ツテ今日制限ヲ設ケマシタ趣意ヲ減却イタシテ仕舞フヤウナコトヲ致スノデハナシ、萬已ムヲ得ザル場合ニハ内務大藏ノ兩省ノ認可ヲ經マシテ萬已ムヲ得スト見タ場合ニハ多少制限ノ超過ヲ許スト云フコトデゴザイマス、是亦御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是モ議長ガ選定シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月二十三日

右特別委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 本案ノ特別委員會ニ於ケル經過ヲ御報告イタシマス、本

案ノ内容ハ法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、但シ左ノ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得、其ノ一ガ土人ニ關スルコト、二、行政官廳又ハ公署ノ職權ニ關スルコト、三、法律上ノ期間ニ關スルコト、四、裁判所又ハ裁判長ガ職權ヲ以テ選任シ又ハ選定スル辯護人、訴訟代理人又ハ訴訟承繼人ニ關スルコト、是ガ本案ノ内容デアリマスガ、委員會ニ於キマシテ段々政府委員ニ質問モ致シ、其説明モ得マシテアリマスガ、諸君モ御承知通りノ我が新領土タル所ノ樺太ハ地方ノ發達ガ未ダ甚ダ幼稚デアリマシテ、交通ノ便利モ甚ダ不完全デアアル、今同軍政ヲ撤シテ民政ニ移サムトスル場合ニ於テ、斯ノ如キ特別ノ法律ガ無ケレバ、内地ニ於ケル所ノ總テノ法律ヲ其儘彼ノ地方ニモ實施セネバナラヌト云フコトニ相成リマス、樺太ノ狀態カラシテ見マスト今直ニ内地ト同様ノ取扱ヲ致スト云フ場合ニ立至ッテ居ナイト云フコトハ、是ハ別ニ説明ヲ要セザルモ分リ得ル次第ト存ジマスル、依ッテ政府ハ本案ヲ提出サレタ趣デアアル、此法律案ハ幾分カ臺灣ニ施行サレテアル所ノ律令ニ關スル法律ト相似タル所ガアリマスガ、臺灣ニ於テハ勅令並ニ總督ニ委任スル所ノ範圍ガ甚ダ廣イノデアアル、併シ此案ニ至リマシテハ唯今申シタル通り法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、又特ニ勅令ヲ以テ規定ヲ設ケルコトヲ得ルノハ、唯今並ニ申述ベマシタコトニ限ルト云フコトデ、餘ホド範圍ハ限ッテアルト云フコトデアリマス、特別委員中ニ於キマシテハ、此案ニ對シマシテ斯ノ如キ法律ガ我ガ領土ノ一部ニ行ハレルト云フコトハ望マシイコトデハナシノデアアル、併ナガラ今日ノ實際ニ鑑ミテ見レバ萬已ムヲ得ザル譯デアアルカラシテ、此際ニ於テ此法律ノ制定サレルト云フコトハ已ムヲ得ザルコトデアラウ、併ナガラ願ハクバ斯ノ如キ特例ガ長ク繼續セラレナイヤウニ致シテ、成ルベク近キ將來ニ於テ、内地ト一般ニ法律ヲ施行サレ、斯ノ如キ特例ノ必要ヲ認メザルニ至ルヤウニアリタイノデアアル、併ナガラ此際此案ヲ可決スルノハ決シテ異議アル所デハ無イト云フ說モアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシマシテゴザイマス、本案ハ至ッテ簡明ナル案デモアリマスカラシテ、ドウカ讀會ヲ省略サレテ直ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵金子有卿君 讀會省略賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○侯爵池田詮政君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○子爵大久保忠順君 賛成

○田中芳男君 賛成

○子爵野宮定毅君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアツタト認メマス、岡部子爵ノ讀會省略ノ動議ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案、特別委員長報告通リデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、故ニ本案ハ是デ確定イタシマシタ、本日ノ議事ハ是デ終リマシタ、御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ御報告ニ及ビマス

〔太田書記官長朗讀〕

租税其ノ他ノ收入徴收處分囑託ニ關スル法律案特別委員

子爵内田 正學君 子爵山口 弘達君 男爵眞木 長義君

小牧 昌業君 男爵寺島 秋介君 男爵淺野 守夫君

金井 之恭君 中島 永元君 五十嵐 敬止君

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外二件特別委員

伯爵島津 忠亮君 子爵松平 康民君 男爵小畑 美稻君

男爵赤松 則良君 男爵北大路 實信君 山田 爲暄君

關 清 英君 磯邊 包義君 阿由葉吟次郎君

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案特別委員

子爵青山 幸宜君 子爵牧野 忠篤君 男爵相浦 紀道君

男爵藤枝 雅之君 男爵諫早 家崇君 南郷 茂光君

山本 達雄君 岩村 兼善君 加藤 宇兵衛君

公共團體課税ノ制限ニ關スル法律案特別委員

子爵會我 祐準君 子爵梅小路 定行君 男爵松平 正直君

前田 正名君 男爵四條 隆平君 田邊 輝實君

男爵本多 副元君 谷森 眞男君 菊池 長四郎君

○議長(公爵徳川家達君) 明二十六日ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午前十時五十三分散會